

医療的ケア児に係る実態調査 結果報告書

令和4年8月

岩手県保健福祉部障がい保健福祉課

実態調査の概要

1 調査目的

本県の医療的ケア児に係る実態を把握し、今後の支援施策等に関する基礎資料とする。

2 調査の実施主体

岩手県

3 医療的ケアの定義

医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る法律（令和三年法律八十一号）第2条の定義のとおり、人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為をいう。

【調査対象となる医療行為】

- ①人工呼吸器（鼻マスク式補助換気法、ハイフローセラピー、間歇的陽圧吸入法、排痰補助装置、高頻度胸壁振動装置を含む）の管理
- ②気管切開 ③鼻咽頭エアウェイ ④酸素療法 ⑤吸引（口鼻腔・気管内吸引）
- ⑥ネブライザー ⑦経管栄養 ⑧中心静脈カテーテル
- ⑨皮下注射（例：インスリン注射） ⑩血糖測定 ⑪継続的な透析 ⑫導尿
- ⑬排便管理 ⑭痙攣時の坐薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置
- ⑮その他の医療行為（例：抗悪性腫瘍薬（静注薬）治療など）

4 調査対象機関

- (1) 岩手県内の医療機関（いわて医療ネット掲載全診療科を主とする。一部医療機関を除く）
- (2) 特別支援学校
- (3) 市町村

5 調査対象者

- (1) 岩手県内の医療機関

調査対象医療機関において、令和3年4月1日から令和4年4月1日までの間に入院又は診療（一時的な外来診察等を含む）を行った者のうち、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に3の医療的ケアを受けることが不可欠である児童（医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る法律（令和三年法律八十一号）第2条第2項の定義のとおり、18歳未満の者及び18歳以上の者であって高等学校等（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部をいう。）に在籍するものをいう。）とする。（※）

（※）平成14年4月2日以降に生まれた方であって、障がい者手帳の有無は問わないこと。

（18歳以上の方については、高等学校等に在籍しているかを把握されていない場合も想定されるため、高等学校等の在籍にかかわらず、生年月日により一律に対象者を報告）

(2) 特別支援学校

調査対象校に令和4年4月1日時点で在籍している、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に3の医療的ケアを受けることが不可欠である児童（医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る法律（令和三年法律八十一号）第2条第2項の定義のとおり、18歳未満の者及び18歳以上の者であって高等学校等（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部をいう。）に在籍するものをいう。）とする。(※)

(※) 障がい者手帳の有無は問わないこと。

(3) 特別支援学校

市町村において、令和4年4月1日時点で把握している、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に3の医療的ケアを受けることが不可欠である児童（医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る法律（令和三年法律八十一号）第2条第2項の定義のとおり、18歳未満の者及び18歳以上の者であって高等学校等（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部をいう。）に在籍するものをいう。）とする。(※)

(※) 障がい者手帳の有無は問わないこと。

6 調査方法

(1) 県障がい保健福祉課から4に掲げる調査対象機関あて調査依頼文書を送付

※ メールによる送付を基本として、メールアドレスを把握していない医療機関は郵送

(2) 調査対象機関は、実態調査票に必要事項を入力の上、メールまたはFAXにより回答

7 回答期間

令和4年5月2日（月）まで

8 留意事項

本調査により把握した内容については、統計データとして公表を予定しているが、個人を特定できる情報については、施策の検討における基礎資料や市町村等との情報共有以外に使用することは一切ないこと。

実態調査の内容

1 岩手県内の医療機関

(1) 基本情報

医療機関名、連絡先電話番号(任意)、連絡先 E-mail(任意)、
医療的ケア児の入院・診療状況(R3. 4. 1-R4. 4. 1)

(2) 項目別詳細

性別、生年月日、居住市町村、在宅又は入院・入所の別、身体障害者手帳の所持状況、
療育手帳の所持状況、障害支援区分、障がい福祉サービス利用状況、
超重症児・者、準超重症児・者、その他の別、医療的ケアの状況(複数選択可)、備考(任意)

2 特別支援学校

(1) 基本情報

学校名、連絡先電話番号、連絡先 E-mail、医療的ケア児の在籍状況(R4. 4. 1 時点)

(2) 項目別詳細

性別、生年月日、居住市町村、在宅又は入院・入所の別、
通学又は訪問(自宅、施設・病院等)の別、身体障害者手帳の所持状況、療育手帳の所持状況、
障害支援区分、障がい福祉サービス利用状況、超重症児・者、準超重症児・者、その他の別、
医療的ケアの状況(複数選択可)、備考(任意)

3 市町村

(1) 基本情報

市町村名、連絡先電話番号、連絡先 E-mail、医療的ケア児の把握状況(R4. 4. 1 時点)

(2) 項目別詳細

性別、生年月日、居住市町村、在宅又は入院・入所の別、身体障害者手帳の所持状況、
療育手帳の所持状況、障害支援区分、障がい福祉サービス利用状況、
避難行動要支援者名簿登録状況、個別避難計画策定状況、超重症児・者、
準超重症児・者、その他の別、医療的ケアの状況(複数選択可)、備考(任意)

(備考)

1 超重症児、準超重症児について

(1) 超重症児

下表の判定スコアの合計が 25 点以上であって、介助によらなければ座位が保持できず、かつ、人工呼吸器を使用する等、特別の医学的管理が必要な状態が 6 月以上継続している状態（※1）にあるもの。

(2) 準超重症児

判定スコアが 10 点以上であって、超重症児・者に準ずる状態にあるもの。

【判定スコア】項目	(スコア)
1 レスピレーター管理（※2）	= 10
2 気管内挿管、気管切開	= 8
3 鼻咽頭エアウェイ	= 5
4 O ₂ 吸入またはSpO ₂ 90%以下の状態が10%以上	= 5
5 1回/時間以上の頻回の吸引	= 8
6回/日以上以上の頻回の吸引	= 3
6 ネブライザー（6回/日以上または継続使用）	= 3
7 IVH（中心静脈栄養）	= 10
8 経口摂取（全介助）（※3）	= 3
経管（経鼻・胃ろう含む）（※3）	= 5
9 腸ろう・腸管栄養（※3）	= 8
持続注入ポンプ使用（腸ろう・腸管栄養時）	= 3
10 手術・服薬にて改善しない過緊張で、 発汗による更衣と姿勢修正を3回/日以上	= 3
11 継続する透析（腹膜灌流を含む）	= 10
12 定期導尿（3回/日以上）（※4）	= 5
13 人工肛門	= 5
14 体位交換（6回/日以上）	= 3

※1 新生児（特定）集中治療室を退室した患児であって当該治療室での状態が引き続き継続する患児については、当該状態が1月以上継続する場合とする。なお、新生児（特定）集中治療室を退出した後の症状増悪、又は新たな疾患の発生については、その後の状態が6月以上継続する場合とする。

※2 毎日行う機械的気道加圧を要するカマシ・NIPPV・CPAPなどは、レスピレーター管理に含む。

※3 8～9は経口摂取、経管、腸ろう・腸管栄養のいずれかを選択。

※4 人工膀胱を含む

（出典）「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて（平成30保医発0305-2）」別添6の別紙14

2 障がい福祉サービスについて

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第一二三号）第五条に規定する障害福祉サービス及び相談支援並びに児童福祉法（昭和二十二年法律第百六十四号）第六条の二の二に規定する障害児通所支援及び障害児相談支援、同法第七条に規定する障害児入所支援とする。

- | | | | | |
|--------------|-----------|-------------|-------------|-------|
| ①居宅介護 | ②重度訪問介護 | ③同行援護 | ④行動援護 | ⑤療養介護 |
| ⑥生活介護 | ⑦短期入所 | ⑧重度障害者等包括支援 | ⑨施設入所支援 | |
| ⑩自立訓練 | ⑪就労移行支援 | ⑫就労継続支援 | ⑬就労定着支援 | |
| ⑭自立生活援助 | ⑮共同生活援助 | ⑯計画相談支援 | ⑰地域移行支援 | |
| ⑱地域定着支援 | ⑲児童発達支援 | ⑳医療型児童発達支援 | ㉑放課後等デイサービス | |
| ㉒居宅訪問型児童発達支援 | ㉓保育所等訪問支援 | ㉔障害児相談支援 | | |
| ㉕障害児入所支援 | | | | |

- (出典) 1. 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（平成十七年法律第一二三号）第五条
2. 「児童福祉法」（昭和二十二年法律第百六十四号）第六条の二の二、第七条

3 避難行動要支援者名簿及び個別避難計画について

○災害対策基本法（昭和三十六年法律第二百二十三号）関連条文抜粋

（避難行動要支援者名簿の作成）

第四十九条の十 市町村長は、当該市町村に居住する要配慮者のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であつて、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要するもの（以下「避難行動要支援者」という。）の把握に努めるとともに、地域防災計画の定めるところにより、避難行動要支援者について避難の支援、安否の確認その他の避難行動要支援者の生命又は身体を災害から保護するために必要な措置（以下「避難支援等」という。）を実施するための基礎とする名簿（以下この条及び次条第一項において「避難行動要支援者名簿」という。）を作成しておかなければならない。

2 避難行動要支援者名簿には、避難行動要支援者に関する次に掲げる事項を記載し、又は記録するものとする。

- 一 氏名
- 二 生年月日
- 三 性別
- 四 住所又は居所
- 五 電話番号その他の連絡先
- 六 避難支援等を必要とする事由

七 前各号に掲げるもののほか、避難支援等の実施に関し市町村長が必要と認める事項

第四十九条の十 三 ～ 第四十九条の十三 [略]

(個別避難計画の作成)

第四十九条の十四 市町村長は、地域防災計画の定めるところにより、名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、当該避難行動要支援者について避難支援等を実施するための計画（以下「個別避難計画」という。）を作成するよう努めなければならない。ただし、個別避難計画を作成することについて当該避難行動要支援者の同意が得られない場合は、この限りでない。

医療的ケア児に係る実態調査(医療的ケア児編)

1 回答数

	岩手県内の医療機関	特別支援学校	市町村	合計
照会数	1297	17	33	1347
回答等	423	17	33	473

(参考)H30実態調査

	病院	診療所	医療型障害児入所施設	福祉型障害児入所施設	障害児通所支援事業所	訪問看護事業所	特別支援学校等	合計
照会数	44	51	5	5	133	99	14	351
回答等	7	4	2	1	33	22	10	79

2 性別

(R4調査)

	男性	女性	合計
医療的ケア児	121	132	253
うち重症心身障がい児相当(※1)以外	109	121	230

(※1)身体障害者手帳1～2級かつ療育手帳A級。大島分類による判定を含まない。

(※2)集計内容の一部について、複数回答内容を整理のうえ集計。

女性がやや多い 【「男性」47.8%(121/253)「女性」52.2%(132/253)】

(H30調査)

	男性	女性	合計
医療的ケア児	89	106	195

女性がやや多い 【「男性」45.6%(89/195)「女性」54.4%(106/195)】

(R4-H30増減比較)

	男性	女性	合計
医療的ケア児	32	26	58

3 年齢区分別

(R4調査)

	0-2歳	3-5歳	6-8歳	9-11歳	12-14歳	15-18歳	不明	合計
盛岡	18	25	22	12	11	17	0	105
岩手中部	12	9	6	7	4	4	0	42
胆江	6	5	8	4	1	2	0	26
両磐	4	5	3	9	5	2	0	28
気仙	8	1	1	1	1	2	0	14
釜石	3	1	5	0	0	0	0	9
宮古	5	2	2	2	2	4	0	17
久慈	2	2	0	0	0	0	0	4
二戸	2	1	1	1	0	0	0	5
県外	0	0	0	0	1	2	0	3
合計	60	51	48	36	25	33	0	253

(※1)集計内容の一部について、複数回答内容を整理のうえ集計。

8歳以下の人数が多い 【「0-2歳」23.7%(60/253)、「3-5歳」20.1%(51/253)、「6-8歳」18.9%(48/253)】

(H30調査)

	0-2歳	3-5歳	6-8歳	9-11歳	12-14歳	15-18歳	不明	合計
盛岡	25	16	12	14	7	15	2	91
岩手中部	7	5	5	3	3	4	0	27
胆江	2	2	2	0	1	2	0	9
両磐	6	7	4	7	1	5	1	31
気仙	3	1	1	1	0	1	0	7
釜石	3	2	0	1	0	0	0	6
宮古	1	0	2	2	3	2	0	10
久慈	0	1	1	0	1	0	0	3
二戸	1	1	0	0	2	1	0	5
県外	0	1	3	1	0	1	0	6
合計	48	36	30	29	18	31	3	195

8歳以下の人数が多い 【「0-2歳」24.6%(48/195)、「3-5歳」18.5%(36/195)、「6-8歳」15.4%(30/195)】

(R4-H30増減比較)

	0-2歳	3-5歳	6-8歳	9-11歳	12-14歳	15-18歳	不明	合計
盛岡	-7	9	10	-2	4	2	-2	14
岩手中部	5	4	1	4	1	0	0	15
胆江	4	3	6	4	0	0	0	17
両磐	-2	-2	-1	2	4	-3	-1	-3
気仙	5	0	0	0	1	1	0	7
釜石	0	-1	5	-1	0	0	0	3
宮古	4	2	0	0	-1	2	0	7
久慈	2	1	-1	0	-1	0	0	1
二戸	1	0	1	1	-2	-1	0	0
県外	0	-1	-3	-1	1	1	0	-3
合計	12	15	18	7	7	2	-3	58

4 医療的ケア状況別／圏域別居住地 ※県内の施設等を利用しているものに限る

(R4調査)

医療的ケア 圏域	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
	レスピ	気管切開	鼻咽頭エア	酸素療法	吸引	ネブライザー	経管栄養	中心静脈	皮下注射	血糖測定	継続的な透析	導尿	排便管理	座薬挿入等	他
盛岡	22	28	3	40	55	29	51	11	3	1	2	22	13	16	14
岩手中部	8	5	1	12	18	6	21	11	1	2	8	10	6	4	1
胆江	5	6	0	11	9	6	13	1	1	0	0	4	2	3	1
両磐	3	7	1	9	11	5	16	4	3	0	1	6	6	2	1
気仙	5	5	0	11	8	0	10	1	0	0	0	2	5	1	0
釜石	1	1	0	3	2	1	8	0	1	0	0	0	1	3	0
宮古	1	6	0	3	7	0	9	0	5	0	0	3	5	3	0
久慈	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
二戸	3	3	0	3	3	1	4	0	0	0	0	3	0	0	0
県外	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	50	61	5	94	113	48	133	28	14	3	11	50	39	33	18

(※1)集計内容の一部について、複数回答内容を整理のうえ集計。

「経管栄養」「たん吸引」実施の人数が多い 【「経管栄養」52.5% (133/253)、「たん吸引」44.6% (113/253)】

(H30調査)

医療的ケア 圏域	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
	レスピ	気管内挿管	鼻咽頭エア	酸素吸入	たん吸引	ネブライザー	経管栄養	腸ろう	中心静脈栄養	人工透析	定期導尿	人工肛門	他	
盛岡	23	25	2	22	44	7	62	4	3		1	16	3	11
岩手中部	5	7	0	4	13	4	15	0	0		0	9	1	2
胆江	1	3	0	2	3	0	4	0	0		0	3	1	1
両磐	1	6	0	8	10	2	17	0	2		1	3	0	2
気仙	0	0	0	2	3	3	5	0	0		0	0	0	1
釜石	1	1	0	3	3	3	4	0	0		1	0	0	1
宮古	2	6	0	1	6	0	5	0	0		0	0	0	2
久慈	0	0	0	1	0	0	0	1	0		0	0	0	1
二戸	2	2	0	3	2	2	4	0	0		0	0	0	1
県外	2	3	0	3	5	1	5	0	0		0	1	0	0
合計	37	53	2	49	89	22	121	5	5		3	32	5	22

「経管栄養」「たん吸引」実施の人数が多い 【「経管栄養」62.1% (121/195)、「たん吸引」45.6% (89/195)】

(R4-H30増減比較)

医療的ケア 圏域	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
	レスピ	気切・気管内挿管	鼻咽頭エア	酸素吸入(療法)	吸引	ネブライザー	経管栄養腸ろう	中心静脈栄養	透析	導尿	排便管理・人工肛門	他	
盛岡	-1	3	1	18	11	22	-15	-3		1	6	10	3
岩手中部	3	-2	1	8	5	2	6	0		8	1	5	-1
胆江	4	3	0	9	6	6	9	0		0	1	1	0
両磐	2	1	1	1	1	3	-1	-2		0	3	6	-1
気仙	5	5	0	9	5	-3	5	0		0	2	5	-1
釜石	0	0	0	0	-1	-2	4	0		-1	0	1	-1
宮古	-1	0	0	2	1	0	4	0		0	3	5	-2
久慈	0	0	0	1	0	0	0	0		0	0	0	-1
二戸	1	1	0	0	1	-1	0	0		0	3	0	-1
県外	0	-3	0	-3	-5	-1	-5	0		0	-1	1	1
合計	13	8	3	45	24	26	7	-5		8	18	34	-4

5 入院・在宅の別

(R4調査)

		盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計
人数	入院	17	12	5	3	5	2	2	0	2	3	51
	在宅	80	30	21	25	9	7	15	4	3	0	194
	無回答	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	合計	105	42	26	28	14	9	17	4	5	3	253

8割弱が在宅で生活 【「入院」20.8%(51/245)、「在宅」79.1%(194/245)】

(H30調査)

		盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計
人数	入院	4	5	0	0	0	2	0	0	1	4	16
	在宅	41	12	9	15	6	4	4	2	4	1	98
	無回答	46	10	0	16	1	0	6	1	0	1	81
	合計	91	27	9	31	7	6	10	3	5	6	195

8割以上が在宅で生活 【「入院」14.0%(16/114)、「在宅」86.0%(98/114)】

(R4-H30増減比較)

		盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計
人数	入院	13	7	5	3	5	0	2	0	1	-1	35
	在宅	39	18	12	10	3	3	11	2	-1	-1	96
	無回答	-38	-10	0	-16	-1	0	-6	-1	0	-1	-73
	合計	14	15	17	-3	7	3	7	1	0	-3	58

6 通学・訪問(自宅)・訪問(施設等)の別 ※特別支援学校報告分集計

		盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計
人数	通学	22	4	2	10	0	3	2	0	0	0	43
	訪問(自宅)	4	0	2	0	0	0	2	0	0	0	8
	訪問(施設等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	26	4	4	10	0	3	4	0	0	0	51

約84%が通学 【「通学」84.3%(43/51)、「訪問(自宅)」15.6%(8/51)】

7 身体障害者手帳の所持状況

		盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計
人数	1級	24	23	17	22	9	6	9	3	2	0	115
	2級	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	3~6級	7	4	1	1	1	0	1	0	0	0	15
	無	73	14	8	5	4	3	7	1	3	3	121
	合計	105	42	26	28	14	9	17	4	5	3	253

(※1)集計内容の一部について、複数回答内容を整理のうえ集計。

(※2)集計内容の一部について、県システム登録状況を突合し修正。

1級所持者及び未保持者が多い 【「1級」45.4%(115/253)、「無」47.8%(121/253)】

8 療育手帳の所持状況

		盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計
人数	A	28	4	4	3	1	0	1	0	1	0	42
	B	6	0	1	1	0	0	1	0	0	0	9
	無	71	38	21	24	13	9	15	4	4	3	202
	合計	105	42	26	28	14	9	17	4	5	3	253

(※1)集計内容の一部について、複数回答内容を整理のうえ集計。

(※2)集計内容の一部について、県システム登録状況を突合し修正。

8割弱が未保持者 【「無」79.8%(202/253)】

9 障がい福祉サービスの利用状況

		盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計
人数	有	65	11	11	19	8	3	7	1	3	0	128
	無	31	20	5	9	6	6	9	3	2	2	93
	未回答	9	11	10	0	0	0	1	0	0	1	32
	合計	105	42	26	28	14	9	17	4	5	3	253

(※1)集計内容の一部について、複数回答内容を整理のうえ集計。

約5割が障がい福祉サービスを利用 【「有」50.5%(128/253)】 ※ R3.4.1以降の利用経験有の場合を含む

10 避難行動要支援者名簿の登録状況

		盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計
人数	有	39	16	13	14	1	0	8	0	0	0	91
	無	41	16	9	11	10	7	8	4	4	0	110
	未回答	25	10	4	3	3	2	1	0	1	3	52
	合計	105	42	26	28	14	9	17	4	5	3	253

(※1)集計内容の一部について、複数回答内容を整理のうえ集計。

約35%が避難行動要支援者名簿に登録済 【「有」35.9%(91/253)、「無」43.4%(110/253)】

11 個別避難計画の策定状況

		盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計
人数	有	12	5	0	6	0	0	0	0	0	0	23
	無	67	27	22	19	9	7	16	4	4	0	175
	未回答	26	10	4	3	5	2	1	0	1	3	55
	合計	105	42	26	28	14	9	17	4	5	3	253

(※1)集計内容の一部について、複数回答内容を整理のうえ集計。

1割弱が個別避難計画を策定済 【「有」9.0%(23/253)、「無」69.1%(175/253)】

医療的ケア児に係る実態調査(超重症児・準超重症児編)

(1) 超重症児

下表の判定スコアの合計が25点以上であって、介助によらなければ座位が保持できず、かつ、人工呼吸器を使用する等、特別の医学的管理が必要な状態が6月以上継続している状態(※1)にあるもの。

(2) 準超重症児

判定スコアが10点以上であって、超重症児・者に準ずる状態にあるもの。

【判定スコア】項目	(スコア)
1 レスピレーター管理 (※2)	10
2 気管内挿管、気管切開	8
3 鼻咽頭エアウェイ	5
4 O ₂ 吸入またはSpO ₂ 90%以下の状態が10%以上	5
5 1回/時間以上の頻回の吸引	8
6回/日以上以上の頻回の吸引	3
6 ネプライザー(6回/日以上または継続使用)	3
7 IVH(中心静脈栄養)	10
8 経口摂取(全介助)(※3)	3
経管(経鼻・胃ろう含む)(※3)	5
9 腸ろう・腸管栄養(※3)	8
持続注入ポンプ使用(腸ろう・腸管栄養時)	3
10 手術・服薬にて改善しない過緊張で、 発汗による更衣と姿勢修正を3回/日以上	3
11 継続する透析(腹膜灌流を含む)	10
12 定期導尿(3回/日以上)(※4)	5
13 人工肛門	5
14 体位交換(6回/日以上)	3

※1 新生児(特定)集中治療室を退室した患児であって当該治療室での状態が引き続き継続する患児については、当該状態が1月以上継続する場合とする。なお、新生児(特定)集中治療室を退室した後の症状増悪、又は新たな疾患の発生については、その後の状態が6月以上継続する場合とする。

※2 毎日行う機械的気道加圧を要するカフマシン・NIPPV・CPAPなどは、レスピレーター管理に含む。

※3 8~9は経口摂取、経管、腸ろう・腸管栄養のいずれかを選択。

※4 人工膀胱を含む
(出典)「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて(平成30保医発0305-2)」別添6の別紙14

1 回答数

(R4調査)

	岩手県内の医療機関	特別支援学校	市町村	合計
照会数	1297	17	33	1347
回答等	423	17	33	473

(参考)H30実態調査

	病院	診療所	医療型障害児入所施設	福祉型障害児入所施設	障害児通所支援事業所	訪問看護事業所	特別支援学校等	合計
照会数	44	51	5	5	133	99	14	351
回答等	7	4	2	1	33	22	10	79

2 性別

(R4調査)

性別	男性		女性		合計	
	超	準超	超	準超	超	準超
人数	17	37	23	42	40	79

女性がやや多い 【「男性」33.6%(40/119)「女性」44.5%(53/119)】

(H30調査)

性別	男性		女性		合計	
	超	準超	超	準超	超	準超
人数	15	25	20	33	35	58

女性がやや多い 【「男性」43.0%(40/93)「女性」57.0%(53/93)】

(R4-H30増減比較)

性別	男性		女性		合計	
	超	準超	超	準超	超	準超
人数	2	12	3	9	5	21

3 年齢区分別

(R4調査)

	0-2歳		3-5歳		6-8歳		9-11歳		12-14歳		15-18歳		合計	
	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超
人数	6	16	8	17	6	21	9	5	3	7	8	13	40	79

8歳以下の人数が多い 【「0-2歳」18.4%(22/119)、「3-5歳」21.0%(25/119)、「6-8歳」22.6%(27/119)】

(H30調査)

	0-2歳		3-5歳		6-8歳		9-11歳		12-14歳		15-18歳		合計	
	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超
人数	7	13	7	14	8	11	5	6	4	3	4	11	35	58

8歳以下の人数が多い 【「0-2歳」21.5%(20/93)、「3-5歳」22.6%(21/93)、「6-8歳」20.4%(19/93)】

(R4-H30増減比較)

	0-2歳		3-5歳		6-8歳		9-11歳		12-14歳		15-18歳		合計	
	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超
人数	-1	3	1	3	-2	10	4	-1	-1	4	4	2	5	21

4 居住地、入院・在宅の別

(R4調査)

		盛岡		岩手中部		胆江		両磐		気仙		釜石		宮古		久慈		二戸		県外		合計	
		超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超
人数	入院	7	5	5	4	1	2	1	0	2	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	3	17	18
	在宅	10	27	0	13	2	5	5	6	2	5	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	22	60
	無回答	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	合計	17	33	5	17	3	7	6	6	5	6	0	3	3	4	0	0	1	0	0	3	40	79

4割強が盛岡圏域に在住 【「盛岡圏域」42.0%(50/119)】

7割が在宅で生活 【「入院」29.9%(35/117)、「在宅」70.0%(82/117)】

(参考)H30実態調査

		盛岡		岩手中部		胆江		両磐		気仙		釜石		宮古		久慈		二戸		県外		合計	
		超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超
人数	入院	2	2	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	2	11	5
	在宅	7	9	0	3	1	2	0	0	0	3	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	9	20
	無回答	11	17	0	6	0	0	2	6	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	1	15	33
	合計	20	28	4	10	1	2	2	6	0	3	2	1	2	4	0	1	2	0	2	3	35	58

約5割が盛岡圏域に在住 【「盛岡圏域」51.6%(48/93)】

6割以上が在宅で生活 【「入院」35.6%(16/45)、「在宅」64.4%(29/45)】

(R4-H30増減比較)

		盛岡		岩手中部		胆江		両磐		気仙		釜石		宮古		久慈		二戸		県外		合計	
		超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超	超	準超
人数	入院	5	3	1	3	1	2	1	0	2	1	-2	2	0	1	0	0	0	0	-2	1	6	13
	在宅	3	18	0	10	1	3	5	6	2	2	0	0	3	2	0	-1	-1	0	0	0	13	40
	無回答	-11	-16	0	-6	0	0	-2	-6	1	0	0	0	-2	-3	0	0	0	0	0	-1	-14	-32
	合計	-3	5	1	7	2	5	4	0	5	3	-2	2	1	0	0	-1	-1	0	-2	0	5	21

【参考1】医療的ケア児に係る実態調査結果(詳細集計)

類型別の実態

		①医療的ケア児 (〔準〕超重症児)		②医療的ケア児 (その他)		医療的ケア児 計 (①+②)		【参考】	
調査年度		R4		R4		R4		H30	
年齢別	0-2歳	22	18.5%	38	28.4%	60	23.7%	48	24.6%
	3-5歳	25	21.0%	26	19.4%	51	20.2%	36	18.5%
	6-8歳	27	22.7%	21	15.7%	48	19.0%	30	15.4%
	9-11歳	14	11.8%	22	16.4%	36	14.2%	29	14.9%
	12-14歳	10	8.4%	15	11.2%	25	9.9%	18	9.2%
	15-18歳	21	17.6%	12	9.0%	33	13.0%	31	15.9%
	不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.5%
	計	119	100.0%	134	100.0%	253	100.0%	195	100.0%
居住圏域	盛岡	50	42.0%	55	41.0%	105	41.5%	91	46.7%
	岩手中部	22	18.5%	20	14.9%	42	16.6%	27	13.8%
	胆江	10	8.4%	16	11.9%	26	10.3%	9	4.6%
	両磐	12	10.1%	16	11.9%	28	11.1%	31	15.9%
	気仙	11	9.2%	3	2.2%	14	5.5%	7	3.6%
	釜石	3	2.5%	6	4.5%	9	3.6%	6	3.1%
	宮古	7	5.9%	10	7.5%	17	6.7%	10	5.1%
	久慈	0	0.0%	4	3.0%	4	1.6%	3	1.5%
	二戸	1	0.8%	4	3.0%	5	2.0%	5	2.6%
	県外	3	2.5%	0	0.0%	3	1.2%	6	3.1%
	不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	119	100.0%	134	100.0%	253	100.0%	195	100.0%
居住場所	入院	35	29.4%	16	11.9%	51	20.2%	16	8.2%
	在宅	82	68.9%	112	83.6%	194	76.7%	98	50.3%
	不明	2	1.7%	6	4.5%	8	3.2%	81	41.5%
	計	119	100.0%	134	100.0%	253	100.0%	195	100.0%

【参考2】医療的ケア児に係る実態調査結果(詳細集計)

状況別の実態

各医療的ケアの状況別に、「年齢分布」「居住圏域」「生活の場所」を集計した。

- ・ 「年齢」から、レスピレーター管理、気管切開、中心静脈カテーテル、皮下注射、継続的な透析、痙攣時の座薬挿入等について、長期にわたるケアの必要性が明らかになった。
- ・ 「居住圏域」は、ほぼ全ての医療的ケアを通じて、盛岡圏域が最も多い。
- ・ 「生活の場所」については、ほぼ全ての医療的ケアにおいて、「在宅」が大半を占めたが、レスピレーター管理をしている医療的ケア児については、「入院」が6割弱であった。

		レスピレーター		気管切開		鼻咽頭エアウェイ		酸素療法		吸引		ネブライザー		経管栄養		中心静脈カテーテル		皮下注射		血糖測定		継続的な透析		導尿		排便管理		痙攣時の座薬挿入等		その他医療行為		
人数		50	100.0%	61	100.0%	5	100.0%	94	100.0%	113	100.0%	48	100.0%	135	100.0%	28	100.0%	14	100.0%	3	100.0%	11	100.0%	50	100.0%	39	100.0%	33	100.0%	18	100.0%	
分類	超重症児	33	66.0%	36	59.0%	3	60.0%	30	31.9%	37	32.7%	15	31.3%	38	28.1%	11	39.3%	1	7.1%	0	0.0%	1	9.1%	13	26.0%	9	23.1%	8	24.2%	9	50.0%	
	準超重症児	11	22.0%	22	36.1%	0	0.0%	31	33.0%	48	42.5%	22	45.8%	49	36.3%	12	42.9%	0	0.0%	0	0.0%	5	45.5%	10	20.0%	16	41.0%	10	30.3%	6	33.3%	
	その他	6	12.0%	3	4.9%	2	40.0%	33	35.1%	28	24.8%	11	22.9%	48	35.6%	5	17.9%	13	92.9%	3	100.0%	5	45.5%	27	54.0%	14	35.9%	15	45.5%	3	16.7%	
年齢	0-2歳	7	14.0%	11	18.0%	1	20.0%	33	35.1%	19	16.8%	0	0.0%	34	25.2%	4	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	10	20.0%	9	23.1%	3	9.1%	0	0.0%	
	3-5歳	9	18.0%	12	19.7%	0	0.0%	19	20.2%	27	23.9%	14	29.2%	33	24.4%	4	14.3%	1	7.1%	0	0.0%	2	18.2%	9	18.0%	8	20.5%	7	21.2%	2	11.1%	
	6-8歳	10	20.0%	16	26.2%	1	20.0%	21	22.3%	26	23.0%	16	33.3%	26	19.3%	5	17.9%	5	35.7%	1	33.3%	2	18.2%	6	12.0%	9	23.1%	9	27.3%	7	38.9%	
	9-11歳	7	14.0%	9	14.8%	1	20.0%	11	11.7%	20	17.7%	10	20.8%	20	14.8%	7	25.0%	2	14.3%	1	33.3%	2	18.2%	10	20.0%	2	5.1%	6	18.2%	3	16.7%	
	12-14歳	6	12.0%	3	4.9%	2	40.0%	4	4.3%	10	8.8%	3	6.3%	10	7.4%	2	7.1%	3	21.4%	0	0.0%	2	18.2%	8	16.0%	4	10.3%	2	6.1%	4	22.2%	
	15-18歳	11	22.0%	10	16.4%	0	0.0%	6	6.4%	11	9.7%	5	10.4%	12	8.9%	6	21.4%	3	21.4%	1	33.3%	2	18.2%	7	14.0%	7	17.9%	6	18.2%	2	11.1%	
居住圏域	盛岡	22	44.0%	28	45.9%	3	60.0%	40	42.6%	55	48.7%	29	60.4%	51	37.8%	11	39.3%	3	21.4%	1	33.3%	2	18.2%	22	44.0%	13	33.3%	16	48.5%	14	77.8%	
	岩手中部	8	16.0%	5	8.2%	1	20.0%	12	12.8%	18	15.9%	6	12.5%	21	15.6%	11	39.3%	1	7.1%	2	66.7%	8	72.7%	10	20.0%	6	15.4%	4	12.1%	1	5.6%	
	胆江	5	10.0%	6	9.8%	0	0.0%	11	11.7%	9	8.0%	6	12.5%	13	9.6%	1	3.6%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	8.0%	2	5.1%	3	9.1%	1	5.6%	
	両磐	3	6.0%	7	11.5%	1	20.0%	9	9.6%	11	9.7%	5	10.4%	16	11.9%	4	14.3%	3	21.4%	0	0.0%	1	9.1%	6	12.0%	6	15.4%	2	6.1%	1	5.6%	
	気仙	5	10.0%	5	8.2%	0	0.0%	11	11.7%	8	7.1%	0	0.0%	10	7.4%	1	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.0%	5	12.8%	1	3.0%	0	0.0%	
	釜石	1	2.0%	1	1.6%	0	0.0%	3	3.2%	2	1.8%	1	2.1%	8	5.9%	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	3	9.1%	0	0.0%	
	宮古	1	2.0%	6	9.8%	0	0.0%	3	3.2%	7	6.2%	0	0.0%	9	6.7%	0	0.0%	5	35.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.0%	5	12.8%	3	9.1%	0	0.0%	
	久慈	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.0%	0	0.0%	
	久慈	3	6.0%	3	4.9%	0	0.0%	3	3.2%	3	2.7%	1	2.1%	4	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	県外	2	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	1
生活の場所	入院	29	58.0%	22	36.1%	1	20.0%	27	28.7%	33	29.2%	16	33.3%	35	25.9%	10	35.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	15	30.0%	6	15.4%	14	42.4%	5	27.8%	
	在宅	19	38.0%	39	63.9%	4	80.0%	64	68.1%	77	68.1%	31	64.6%	98	72.6%	18	64.3%	14	100.0%	3	100.0%	9	81.8%	33	66.0%	33	84.6%	19	57.6%	13	72.2%	
	無回答	2	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.2%	3	2.7%	1	2.1%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	2	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	